

# 政策提言への対応状況

(平成27年10月9日提言)

○健康寿命を延ばすための

ロコモ予防の推進

P 1 ~ 3

平成28年3月15日

鹿児島県議会政策立案推進検討委員会

## 政策提言「健康寿命を延ばすためのロコモ予防の推進」への対応状況

### 平成28年度新規事業

#### 1 事業名

① 青壮年期ロコモ予防プログラム推進事業

#### 2 事業内容《事業主体：県（一部委託予定）》

ロコモ予防で重要とされる青壮年期からの運動機能の保持，身体活動の増加を推進するため，青壮年期を対象とした予防マニュアルの策定，ロコモに関する知識普及のための講演会を実施する。

- (1) 「青壮年期のためのロコモ予防マニュアル」策定
- (2) 県民向け講演会の開催
- (3) 普及啓発（ポスター・チラシの作成）

#### 3 予算額・財源内訳

2,713千円（一般）

提言の内容	施策の内容等（健康増進課）
<p><b>1 県民への意識啓発</b></p> <p>① 健康寿命を延ばし，個人の生活の質を高め，さらに持続的な社会保障制度を維持するためにはロコモ予防は有効であることから，ロコモの認知度向上を図るとともに，「健康かごしま21通信」などの情報紙を活用して，ロコモ予防のための運動や食生活等に関する情報・知識について，より一層の普及啓発を図ること。</p> <p>② ロコモの認知度向上の取組並びにロコモ予防のための運動及び食生活等に関する情報提供に当たっては，関係団体等との連携を図るとともに，多様な広報媒体等により幅広い年齢層への情報発信を強化すること。</p>	<p>平成25年3月策定された県の健康増進計画「健康かごしま21」において，ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の発症・重症化予防を重要目標の1つに設定し，県政広報番組，ホームページ及び情報紙等により認知度向上に努めている。</p> <p>情報紙「健康かごしま21通信」の平成27年7月号と平成28年2月号や鹿児島県国民健康保険団体連合会発行の「国保かごしま」5月号でロコモ予防等の記事を掲載し，また，県ホームページでもロコモ予防のための運動や食生活等に関する情報発信するなど，普及啓発を図った。</p> <p>引き続き，「健康かごしま21通信」，ホームページ及びチラシ等を活用しながらロコモの認知度向上を図るとともにロコモ予防に関する情報・知識について普及啓発に努める。</p> <p>県の健康増進計画の推進方策等を協議する「健康かごしま21推進協議会」において，平成27年度の重点テーマの1つとしてロコモ予防を設定し，市町村や健康関連団体などと連携して啓発用共通キャッチフレーズを活用したチラシを配布するなど認知度向上に努めた。</p> <p>7月に実施した県政モニターアンケート調査結果も参考にしながら，県ホームページや課フェイスブックなど多様な広報手段により幅広い年齢層への情報発信を行った。</p> <p>引き続き，関係団体等との連携を図るとともに，ロコモ予防に関する情報発信の強化に努める。</p>

政策提言「健康寿命を延ばすためのロコモ予防の推進」への対応状況

提言の内容	施策の内容等（健康増進課）
<p><b>2 ロコモ予防の推進</b></p> <p>① ロコモになる要因である「バランス能力の低下」や「筋力の低下」, 「骨・関節の疾患」などを解消するため, ロコモ予防運動の取組を図ること。</p>	<p>ロコモ予防対策（ロコトレーニング）が掲載されたチラシ・ポスターを作成・活用しながら, 健康関係団体等と連携してロコモ予防運動の普及・啓発を図るとともに, 県民向け講演会での実技指導等を通じてロコモ予防運動の取組を推進する。</p>
<p>② やせ過ぎ及び肥満は, ロコモに繋がる一因でもあり, これらを改善するための食生活改善の取組を図ること。</p>	<p>ロコモ予防対策（食生活改善）が掲載されたチラシ・ポスターを作成・活用しながら, 県栄養士会, 県食生活改善推進員連絡協議会等と連携して健康づくり教室等での講話などにより食生活改善の取組を推進する。</p>
<p>③ 自らのロコモの状態を認識することは, ロコモ予防の取組へのモチベーションを上げることに繋がることから, 健康診断等においてもロコチェックの積極的な普及・促進を図ること。</p>	<p>市町村等が実施する健康診断や特定健診の結果報告会等に合わせて, ロコチェックのチラシ等を配布し, 併せて, 予防対策のためのロコトレの普及に努める。</p>
<p>④ ロコモ予防は若い頃からの継続的な取組がより効果的であることから, 各年齢層に応じたロコモ予防の取組を推進すること。</p>	<p>「青壮年期のためのロコモ予防マニュアル」を策定し, 青壮年層をはじめとする各年齢層に応じた予防プログラムを提示し, 実践及び普及に努める。</p>

政策提言「健康寿命を延ばすためのロコモ予防の推進」への対応状況

提言の内容	施策の内容等（健康増進課）
<p>3 ロコモ予防推進に向けた環境及び態勢の整備</p> <p>① ロコモ予防の取組は住民に身近な市町村の取組が重要であることから、市町村が積極的にロコモ予防の取組を行えるよう必要な施策や人材育成等の支援を行うこと。</p>	<p>各地域振興局等の単位で開催されている健康かごしま21地域推進協議会を通じて、改めてロコモ予防が重点テーマの1つであることを提示し、県理学療法士協会等関係団体と連携してロコモ予防に係る情報提供や「青壮年期のためのロコモ予防マニュアル」を活用した健康教室の開催など、市町村への技術的支援に努める。</p> <p>健康増進センターの市町村等関係者研修会において、「ロコモ予防」をテーマとし、保健師、健康運動指導士及び担当者等の資質向上を図る。</p>
<p>② 企業・団体等におけるロコモ予防を目的とした職場研修、健康診断時の指導、社員食堂での情報提供など、職場におけるロコモ予防の取組を推進するための環境整備を事業者等との連携により図ること。</p>	<p>健康かごしま21推進協議会の専門部会である地域・職域・学域連携推進委員会を通じて、職場の健康づくりに積極的に取り組んでいる「職場の健康づくり賛同事業所」や関係機関に啓発用ポスターを配付するなど職場におけるロコモ予防の取組を推進し、必要に応じて保健師、栄養士等を派遣する。</p> <p>また、鹿児島産業保健総合支援センターと連携し事業所の健康管理担当者向け研修会を開催する。</p> <p>「青壮年期のためのロコモ予防マニュアル」策定し、同マニュアルを活用した事業所等でのロコモ予防健康教室を実施する。</p>
<p>③ ロコモ予防に関する知見を積極的に活用するため、関係団体、大学、研究機関等との連携及び協力を図ること。</p>	<p>平成27年10月17日に鹿児島県整形外科医会と共催で「運動器の10年・骨と関節の日」県民公開講座を開催し、平成28年度についても開催予定。</p> <p>また、県民健康プラザ健康増進センターと鹿屋体育大学等との連携を生かし、ロコモ予防に関する知見等を広く県民全体に情報発信するよう努める。</p>